

# 江戸日本橋から京都三条大橋までを結んでいた東海道

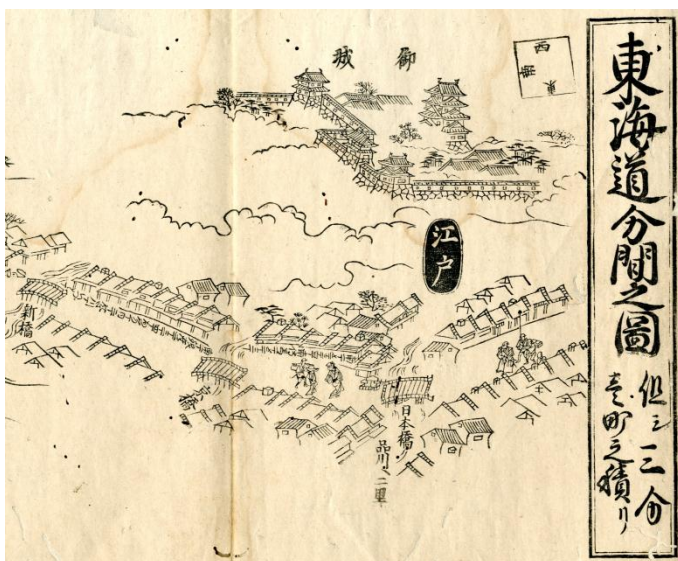
## 日本橋



『東海道 広重画五拾三次現状写真対照』 秋好善太郎編  
東光園 1918年 <請求記号: K291/328> より  
「東海道五拾三次之内一 日本橋」 歌川広重画

日本橋は、中央区日本橋1丁目と日本橋室町1丁目を結んでいます。慶長8(1603)年、徳川家康が江戸城東側の海岸地帯を埋立てし、町割を行った際に橋をかけました。この日本橋が東海道の五街道の起点となりました。

江戸時代の地誌である『御府内備考』によれば、橋名の由来は「この橋江戸の中央にして、諸国への行程もここより定めらるるゆえ日本橋の名あり」といいます。

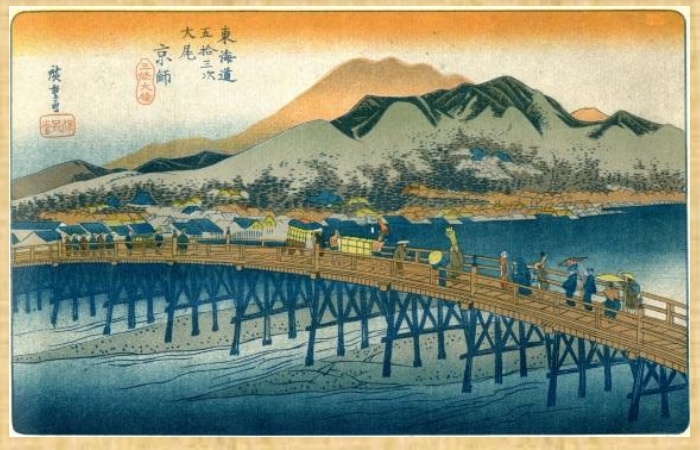


『東海道分間之圖 巻の1』 遠近道印著 絵師 菱川師宣他  
1690年 <請求記号: K292/49/1> より江戸

江戸期には橋畔に橋番人の小屋などがあり、北側には東の江戸橋との間に魚市場が並び、日本橋魚河岸と称されて賑わいました。

さらに日本橋通りには有名な大店が集中し、現在まで都心地のメインストリートとして繁栄してきました。

## 京都



『東海道 広重画五拾三次現状写真対照』 秋好善太郎編  
東光園 1918年 <請求記号: K291/328> より  
「東海道五拾三次大尾 京都 三条大橋」 歌川広重画